

トーキョーワンダーサイト

【コンサートシリーズ】

音の境界線

プログラム・ディレクター
細川俊夫

音楽は今、世界中に洪水のように溢れている。

私たちが、かつて持っていた「間」や「空白」は安っぽい音によって、コンクリートが流れ込むように、埋め尽くされようとしている。

沈黙に畏れを感じたり、音の内部に、生きるものの「いのち」の響きと鼓動を聴き取ることは、もうないのだろうか。

トーキョーワンダーサイトで企画されるコンサートシリーズは、優れた演奏家を主体としたものと、

若い作曲家たちが独自に企画するものによって構成される。

21世紀の初頭の今、新しい芸術音楽の領域において、日本と世界で何が起きているか。

現代人の「いのち」の響きを、トーキョーワンダーサイトの小さな窓を通して体験してみよう。

(細川俊夫)

vol.02

arditti quartet

世界をリードする先鋭なアルディッティ弦楽四重奏団による、ラッヘンマン、細川の作品によって時空を裂く新しい響きを体験しよう。
細川俊夫が自作とラッヘンマンの作品について語る。

出演

アルディッティ弦楽四重奏団

アーヴィン・アルディッティ 第一ヴァイオリン

グレアム・ジェニングズ 第二ヴァイオリン

ドヴ・シェンドリン ヴィオラ

ロハン・デ・サラム チェロ



細川俊夫

FOSHIO Ho-akawa, Composer / Talk
(作曲家・お話)

programmes

細川俊夫

ヘルムート・ラッヘンマン

沈黙の花

弦楽四重奏第二番<精霊たちの輪舞>

(Silent Flowers)

(Reigen Seliger Geister)

2002年6月8日 [土] 午後2時～ (開場：午後1時30分)

会場：トーキョーワンダーサイト 1階ギャラリー

定員：60人

定員になり次第締め切らせていただきますので、お早めにお申し込み下さい。ファックスの場合は裏面のお申し込み欄にご記入下さい。

arditti quartet

<調弦の緻密さ、完璧なアンサンブル演奏という点においてアルディッティ弦楽四重奏団は世界の頂点を極めているといっても過言ではない。この弦楽四重奏団が取り組む事は、どのようなことであれすべてが繊細で、かつとても全体的なので、極めて大胆な実験的な作品であっても、それが音楽史上の主流であり、人々の感じ方の主流だと聴衆を納得させるものである。>

(ボストン・グローブ紙1998年8月)

1999年、アルディッティ弦楽四重奏団は結成25周年を向かえた。1974年に第一ヴァイオリンのアーヴィン・アルディッティがこのクアルテットを創設、活動を開始。現代作品そして20世紀初期の作品と深い解釈と卓抜した演奏は、世界各地に広く知られ、高い評価を確立している。

この25年の間に、数百もの弦楽四重奏曲がアルディッティ弦楽四重奏団のために作曲され、数多くが今世紀の代表的なレパートリーの広さについては、パートウィスル、ケーゾカーター、ファーニホウ、グラス、グバイドゥーリナ、カゲル、クルターク、マックスウェル・デイヴィス、ナンカロウ、ノーノ、ペルト、リーム、シュトックハウゼン、クセナキスなどの作曲家の作品の世界初演を行っている。

ロイヤル・フィルハーモニック協会の室内楽アンサンブル賞、グラモフォン誌の現代音楽部門での受賞など活動に対してさまざまな賞が贈られている。そして99年には、栄誉

ある「エルンスト・フォン・シーメンス音楽賞」が彼らの功績に対して授与された。

2000年・2001年シーズンには、メキシコ、アメリカ、日本（東京オペラシティでは一日で14曲を演奏する快挙を成し遂げ、その他6都市にとっても20世紀作品を20世紀作品を名演し、注目を浴びた）、南アフリカ、オーストラリア、北米などのツアーを行うほか、リームが彼らとオーケストラのために作曲した新曲をコンサートヘボウ管、ミュンヘン・フィルなどヨーロッパ各地で演奏する。また2001年3月にはベルリン・ピエンナーレに招かれ、ピエンナーレ委嘱の新作、サンドリーの弦楽四重奏とオーケストラのための作品を世界初演。2001年10月メルボルンで開催されたフェスティバルのレジデントとして連続5回の演奏会で20世紀の名作を弾いた。さらに、アグネス・リンドベルイの50歳記念を祝し、ノールウェイやロンドンでの記念演奏会に出演。また、クセナキスの没後一年、ウィーンやマドリッドでの記念演奏会に出演している。

細川俊夫（ほそかわとしお）1955年生まれ。ベルリン芸術大学でユン・イサンに、フライブルグ音楽大学で、クラウス・フーパーに作曲を師事。1980年ダルムシュタット国際現代音楽夏季講習会で初めて作品を発表して以来、ヨーロッパと日本を中心に作曲活動を展開する。ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団創立100周年記念作曲コンクール第一位（'82年）、ドゥイスブルグ音楽賞（'98年）、ラインガウ音楽賞（'98年）を受賞するなど、国際的に高い評価を得ている。ヨーロッパの重要な現代音楽祭のほとんどから招待作曲家あるいは講師として招かれ、作品が演奏されている。'98年ミュンヘン・ピエンナーレで初めてのオペラ「リアの物語」を委嘱初演し絶賛された。2000年ルツェルン国際音楽祭のテーマ作曲家に選ばれる。ザルツブルク音楽祭からもオペラを委嘱され、2004年に初演予定。2001年より武生国際作曲ワークショップの音楽監督。おもな作品としては《遠景 I, II, III》(1987, 96, 96) 《ヒロシマ・声なき声》(1989/2001)、《旅 I~IV》など。

コンサートシリーズ 今後のスケジュール(予定)

7月27日[土] 中村功 打楽器の秘密

ヨーロッパの第一線で活躍する中村功が、打楽器の根本的な打ち方、触り方、奏法を解説しながら、彼の親交のある作曲家たちの作品と、即興演奏をする。彼のからだから豊かな響きが生まれてくる、その現場に立ち会おう。

10月11日[金] 鈴木俊哉、宮田まゆみ デュオリサイタル

リコーダー演奏の世界に全く独自の新しい境地を切り開いた鈴木俊哉、そして千年の永い脈から目を覚ませ、新しいいのちを筈に吹き込んだ宮田まゆみの二重奏コンサート。

12月[予定] 川村京子の世界

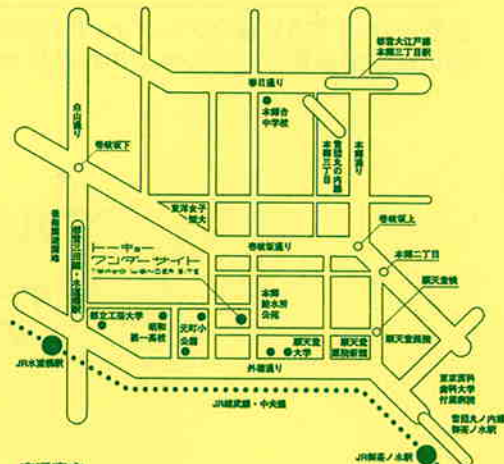
アムステルダムコンサートヘボでヨーヨーマと共演して話題を集めた琴奏者、川村京子の艶やかな声と等。江戸の音楽と現代の音楽の組み合わせ。

2003年1月 [予定] 山根孝司 クラリネットリサイタル

ベルギーに滞在する国際的なクラリネット奏者、山根孝司がブラームスと現代作品の組み合わせで、クラリネットの多様な音楽を奏でる。

このほか、9月以降には若手の作曲家とアーティストによるコラボレーションを予定しています。

*それぞれの参加費については、お問い合わせ下さい。



交通案内

御茶ノ水駅・水道橋駅 (JR総武線) / 水道橋駅 (都営地下鉄三田線) / 御茶ノ水駅・本郷三丁目駅 (都営地下鉄丸の内線) / 本郷三丁目駅 (都営地下鉄大江戸線) 各駅よりそれぞれ徒歩7分 ※駐車場はございません

arditti quartet

住所・氏名・電話・ドネーションを明記の上、
FAXまたはe-mailでトーキョーワンダーサイトまでお申し込みください。

フリガナ お名前	勤務先
ご住所	
電話	FAX
E-mail アドレス	
ドネーション	<input type="checkbox"/>

※コンサートシリーズ支援ドネーション=今回のコンサートはお一人様4口（一口1000円）からお願いします。高生とトーキョーワンダーサイト展示作家は、2口からと致します。交流会参加は別途とさせていただきます。なお、ご招待特典のあるサポートプログラムにご興味の方は、TWSまでお問い合わせ下さい。

T O K Y O W O N D E R S I T E

ドネーションお振込先

みずほ銀行 東京都庁出張所 普通預金 8012731
名義: トーキョーワンダーサイトサポーター係
代表 荒川(あらかわ)満(みつる)

トーキョーワンダーサイト

〒113-0033 東京都文京区本郷2-4-16

2-4-16 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo 113-0033, Japan

TEL: 03-5689-5331 / FAX: 03-5689-7501

http://www.tokyo-ws.org e-mail: info@tokyo-ws.org